



# 2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」会長/李 東建(韓国、ソウル)

2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」ガバナー/牧田 静二(静岡RC)

パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」会長/高木 一浩

# 週報

第268回例会 8月5日(火)AM7:30~8:30 オークラホテル4F平安の間

司会:木村満義 点鐘:高木一浩 ロータリーソング希望のエナジー

ビジター:新村和弘様(浜松南RC),加藤建士様(浜松南RC)

## 会長挨拶

いよいよ後三日で北京オリンピックが始まります2008年8月8日午後8時開会式が始まります、いかにも中国らしく8が並んでます今回楽しみにしている種目、色々ありますが専門分野の陸上競技のなかで女子マラソンと男子100mが特に気になります。テレビで見た最初のオリンピックは1964年の東京オリンピックでその時一番印象に残っているのが男子100mのボブ・ヘイズです。今でも最高のスプリンターだと思っています。

## 幹事報告

連絡事項 / 8月11日~15日の期間、事務局が夏期休暇となります。特に13日~15日は、完全休日となります。 / 地区大会のお知らせ地区大会のご案内する時期が来ました。11月15日~16日。場所:静岡。例年20名強の方々にご出席して頂いています。役員・理事及び入会から日の浅い方が対象です。バスを仕立てますので、積極的なご参加をお願いします。

## 委員会報告

2620地区青少年交換小委員会 = 2007-2008年度交換学生で、日本から外国へ留学していた5名の学生が、全員無事帰国しました。中でも、パワー浜松RCからの知久さんが先週末帰国されました。本人からは『大変有意義な留学が出来た』との報告を受けています。ご支援を頂きました皆さまに感謝申し上げます。また、日本へ留学に来ていた学生、3名も無事、祖国に帰国しました。パワー浜松RCが受け入れていた、アディソン君に関しましては、皆さまご承知のように、途中で残念な結果となってしまいました。詳細はわかりませんが、元気で頑張っているとのことですので、ご報告いたします。

会員増強部会 = 会員の増強では、皆さまにご協力を頂きまして有難うございます。今回は2名の新会員候補の推薦を頂いています。お手元に、新会員候補者2名の資料を配布いたしました。今日から2週間候補者の公示を行います。新会員の入会に意義がある方は、8月19日までに書面で、幹事までご提出ください。



PRCのソングの録音計画が進んでいます!

## 出席報告

97名中67名69.07%  
前々回修正出席率72.16%

## 連絡事項

うたの会 = 10月21日の7周年記念例会で、パワー浜松RCの新しいロータリーソングの発表を行う予定です。それに先立ちまして、西遠女子学園の合唱部の皆さんに、この新しいロータリーソングを唄っていただき、CDに録音しようという計画を進めています。先日、西遠女子学園の学校長にお願いをして参りました。また、当日(10月21日の例会)は、西遠の合唱部の皆さんにも来ていただいていた予定でした。

## スマイル報告

野田みよ子; 皆さんお馴染みの陳興華さんが8月3日無事2800gの赤ちゃんを出産。母子ともに元気です。

小田木基行; 「脳展」と「千住明コンサート」のPR。脳展は8/31まで浜松科学館で開催、猫や蛙など脳から神秘的な世界をかい間見る事が出来ます。千住明と新日本フィルコンサートは10/1開催で白鳥英美子さんもゲスト出演。S席は僅かになりました。



POWER HAMAMATSU  
ROTARY CLUB  
JAPAN  
国際ロータリー第2620地区・静岡第7分区  
パワー浜松ロータリークラブ

パワー浜松ロータリークラブ事務局/〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松43階4307号室

Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp

URL http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日 認証状伝達式/2003年4月29日 スポンサークラブ/浜松中ロータリークラブ



# 2008-09



国際ロータリーのテーマ「夢をかたちに」 会長/李 東建(韓国、ソウル)  
 2620地区のテーマ「楽しく魅力あるロータリーを目指して」 ガバナー/牧田 静二(静岡RC)  
 パワー浜松ロータリーのテーマ「情熱を内に、パワーを外へ」 会長/高木 一浩

## 議事卓話

### 「秋山雅弘さんの宇宙のお話し」



ただ今、ご紹介に与りました、宇宙人の秋山です。私の会社は、アルモニコスという会社で、3次元の仕事、X、Yに、Zを足したソフトウェア関係の仕事をしています。好きな言葉(座右の銘)は、着眼大局。大きなところを見て、着手は小さなことからということです。

世界には大きく3つの問題があると思います。ひとつは環境の問題、もうひとつは資源の問題、そして平和の問題だと思えます。日本の問題は、制度の問題、教育の問題、経済の問題、この3つだと思っています。このような中で、この浜松が取り組んでいかなければならない問題といえば、わたしはやはり、行財政改革だと思えます。合併しましたので、合併して集まった11の市町村は、浜松市にくらべて、収入が少なく、経費が多いんです。計算してみたんですけれど、合併する前の浜松市は人口ひとり当たりの経費が31万円なんですけど、その他の11市町村は人口ひとりあたり41万円。そのほとんどは、国からの助成金で賄っていたんです。

もうひとつは、産業の育成ですね。いま浜松市はとても良い状態なんですけど、これをどうやって、持続させていくか(持続可能な地域にしていくか)ということを考えなければならぬわけです。ものづくりがベースの街ですから、子ども達の理科教育なども重要になってくると思います。

そういった中で、宇宙へ繋がっていくのですが、楽器や自動車、オートバイの産業から、航空機、宇宙産業の技術、産業の育成というのは、この地域の魅力ともなっていくと思うのです。

先日、浜松市内で宇宙博が開催しました。先端のロケットや、人工衛星の模型とか、宇宙技術が展示紹介されたわけですが、その中で大きかったのは、大変多く子ども達に、宇宙に関するの授業を出前で行いました。これは子ども達にとってすごく大きいことで、大人になって、どんなことをやりたいのかは、概ね小学校5年生までに受けた刺激だとも言われているからです。10年先、この子ども達が大きくなって、宇宙飛行士などになりたいという夢にむかうきっかけにもなり得るのです。

宇宙博は、最初は10社ぐらいしか出てくれないかと思っていましたが、結果的に24社が参加してくださいまして、世界中の科学者も800人ぐらい集まり、宇宙に関する先端の論文を発表いただくようなシンポジウムを行いました。8日間で18000人ぐらいの方に会場いただきました。

話しが戻りますが、浜松には、今後、一次産業、二次産業、三次産業の連携も必要ですし、ものづくりそのものを支援する、予算、環境、人材なども浜松には必要だと思います。ものづくり、ひとづくり、まちづくりは、一体となって進められるべきだとも思います。航空宇宙産業の育成が継続的なこの地域の発展に寄与していくと思っています。(一部抜粋要約)

